



ポーポキが住む神戸では冷たい風が吹きはじめ、冷たい雨も降ったりしています。冬がやってくるのね。ポーポキは、友だちとおしゃべりすると、外が寒くても、あたたかくなります。みなさんも、楽しくおしゃべりができる友だちがいるといいですね。

Popoki's Hot News!



COMING SOON!

もうそろそろポー年会！今年の12月18日の予定です。
ぜひ一緒にしたいです。(5ページを参照)



ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語
～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」!

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、「ポーポキ、
元気って、なに色?」や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、および感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのさとにゃんから届いた平和。

「『朋あり遠方より来たる また楽しからずや』久しぶりに会う人と、あれもしよう、あそこにも行こうと考えていたのに、十分にできないままに終わってしまった。とても楽しみにしていた分、終わった時はとても淋しい。でも、短い時間を思い出して、浮かんでくるのは笑った顔ばかり。とても平和で幸せな時間をありがとう。」



あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか?ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)!



NEW! 灘チャレンジ2015のビデオ!!! ポーポキのURLか下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogE>

ピースワークショップ

中道愛子

7月28日に学園都市でポーポキのピースワークショップが行われました。今回のワークショップでは、西神戸YMCAワイっ子クラブ（小学校高学年の学童保育）の子どもたち、北カルフォルニア日系協会の高校生、シアトルYMCAの高校生の計39名が平和について考え表現することができました。

日本の子どもたちとアメリカの高校生が国、言語、年齢を超えて一緒に時間を過ごしました。子どもたちは「外国人とどうお話ししたらいいのかな」「なんかこわいな」と体も表情もとても硬く緊張していた様子でした。ポーポキとろにゃんとさとにゃんと一緒に「平和の音」→「平和のポーズ」→「平和のダンス」を考え、体で表現していくうちに一人ひとりに笑顔が出てきました。音楽やダンスは私たちの言葉をトントントンと飛び越えていきました。1人ひとりが心と体で通じ合おうとしたからこそダンスも息を揃えて発表することができました。

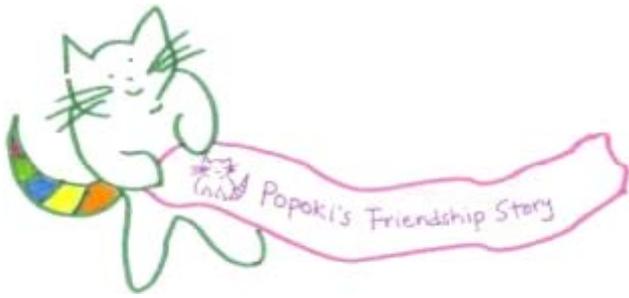
ワークショップを終えるときは想像以上に日本人とアメリカ人の距離が縮まりました。平和をつくることはまず隣の人を受け入れることであり、言葉が通じなくてもいろんな方法で表現していくとわかりあえることがわかった1日となりました。

最後に2人の6年生の女の子の感想を共有します。

「暴力を表す彫刻のアクティビティをしてみて、今は笑っているけど、実際にされたらと考えると悲しくなった。」

「外国の人って怖いと思っていたけど、実際には楽しくて、イメージが変わった！」





Popoki's Interview

Mwinilunga District Hospital 医師 鈴記好博

この記事は11月1日に書いております。ザンビアに来て半年になりました。途中1カ月帰国していましたが、実際は5カ月の滞在になります。そのうちの2カ月をいろいろな手続きで費やしましたので、3か月前からこの国で医師として働いております。

私は、ミニルンガという首都ルサカから約1000km離れた、コンゴやアンゴラとの国境に近い町の郡立病院で働いております。日本での医師生活25年、50歳にしての初の海外での仕事ですので、途上国の医療の改善を！とか、貧しい国の人たちの命を救いたい！などの若者のような大それた野望を持つこともなく、何より世界の平均からは飛びぬけている日本の医療とは違う、世界の医療を経験してみたい、そして結果的に何らかの形でお役に立てたらいい、今回はそんな気持ちで来させてもらっています。そしてこちらとのつながりを深め、現地のニーズや問題点を探り、次のステップとして日本の大学やNPOとつなげて保険医療の充実を図れたらいいと考えています。

ザンビアでは日本にはない多くの感染症があります。マラリア、住血吸虫、赤痢、骨髄炎…。平均寿命は50歳未満です。病院で薬がなくなることもしばしばです。今日は包帯がなく、骨折の子供を段ボールとチテンゲ(ザンビアの女性がズボンやスカートの上から巻きつけている布です)で固定しました。死にそんな貧血の人にも輸血用血液がなく、輸血できないこともあります。HIV陽性の方もたくさんいます。それなのに多くの人が避妊しません。そうして性感染症が広がっています。若年女性の妊娠も多く、それは彼女らの教育の機会を奪います。なぜでしょう？多くの人が健康について知識が乏しいのです。ザンビアの75%の方は1日1.2ドル以下で暮らしています。多くの村に電気も水道もありません。川や沼から水を汲んで飲み水として使っています。そして下痢をして5歳未満のたくさんの子供が死んでいます。

ある意味、彼らは不幸なのかもしれません。

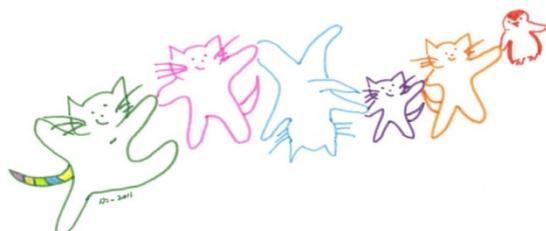
しかし彼らは歌います。楽しそうに笑っています。子供たちは生き生きと暮らしています。ここには日本の様な、秒単位の時間に追われるような生活はありません。日本のように便利ではありませんが、子供の寝顔しか見られないような仕事の忙しさはありません。コンゴやかつてのアンゴラの様な内戦はザンビアにはありません。多少の喧嘩はあっても、このミニルンガには泥棒はいません。

日本とザンビア、はたしてどちらが幸せなのでしょう？なんてことは言いません。日本での暮らしは快適です。しかし少なくともザンビア人が日本に来て仕事をしたら、つらいだろうなと思います。

きっと世界の多くの人々が日本人よりザンビア人に近い生活を送っていることでしょう。日本での生活が決して当然のものではない、世界の平均からは逸脱した異様な状況であることが外に出て実感できました。

決して日本のようにしたいとは思いません。ただ彼らの不幸な部分を改善できたらいいなと思います。

「援助ではなく、協力である」、いつも彼らに私が言う言葉です。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 90

今月のテーマは、目の体操とストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、まずは目を大きく大きくあけて〜〜〜！しっぽに力を入れて、後ろへ。
 3. つぎは、力を入れながら目を小さく小さく閉じて！しっぽへ力を入れたまま、上へ。
 4. 最後は、目を大きく開けながらま〜るく回して！反対方向へ回して！しっぽもいっしょに回せる？
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：12月18日（金）～ スカイブッフェー

12. 7 ポーポキ at 武蔵大学！ 平和とジェンダー、セクシュアリティのワークショップ。

12. 8～10 ポーポキ at 国立高雄海洋科技大学(台湾) ポーポキ友情物語活動の報告など。

12. 18 ポー年会！ザ・スカイ・ブッフェ 貿易センタービル 24階 18:50現地集合

(<http://tabelog.com/hyogo/A2801/A280102/28003186/>)

出席予定の方は11月30日までにお知らせください！

2016. 1. 17前後 阪神淡路大地震展に参加(予定)

2016. 2. 4～9 ポーポキ in 大槌町！

ポーポキの友だちからのお知らせ

・新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。

すてきな写真集です。注文などは：下記のサイト又は前田圭子さんへ。m.dodo@h2.dion.ne.jp

<http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える 1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいからなんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8 10 面





私にとってのポーポキ

カメラにゃん
和訳 ろにゃん

ポーポキと私は、大分前から友だちでしたが、最近やっと彼の国に訪れることができました。彼のメッセージは普遍的です。

ポーポキは、平和が対立の反対語だけではないということを思い出させてくれます。平和は、それよりはるかに大きい。平和は、親愛の心から生じる正義への積極的な追及です。各自のこころの平和は、波のような平和的な行動になり、それがその人の周りに良い影響を及ぼします。

ある人にとって、その意味は、出会う人のすべてを、尊重すべき価値ある人として接することです。別の人にとって、調和をつくる分野（教師、医療関係者、環境を保護する人など）で働くことです。そして、さらに別の人にとっては、人間の尊厳を高め権利を擁護するために活動家としての人生を意味します。

すべての人間、すべての動物、すべての植物は、つながりあって生きていることをポーポキが私に思い出させてくれます。私たちは孤立している生き物ではありません。むしろ、私たちはつながりあっています。このことは、何千年前から様々な方面の賢明な師匠が直観的にわかっていたことですが、現代化学は説きはじめたばかりです。

だから、私にとってポーポキは、烽火（のろし）であり、通知であり、灯りであります。彼は漫画のねこに見えるかもしれませんが、このかわいい姿は彼の一面にすぎません。彼は、師匠であると共に平和への旅の仲間でもあります。



アメリカ初期のフォークアーティスト、エドワード・ヒックスの「平和な王国」では、ライオン、仔羊と子どもたちが仲間になっているだけでなく、遠方にヨーロッパから来たニューカマーたちは、尊敬をこめて先住民に出会っている。ヒックスがこのようにして、真の平和の基にあるつながりを表現するのである。

(写真:

<http://www.worcesterart.org/collection/American/1934.65.html>, 2015.11.15
に参照)

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!